

プログラムに応募した理由：

日米関係を勉強しており、アメリカ、スタンフォードの大学生と交流したかったから。
スタンフォード大学の授業を取ってみたかったから。

プログラムの良かった点：

スタンフォードの大学生と積極的に交流を図ることができる点
実際に授業をとることができる点
滞在費が無料な点

プログラム基本情報

食事について

食堂や大学のカフェ

プログラムの問題点：

dormに入るにはホストが持っているカードキーが必要な点。

派遣体制について

日本人30人くらい、スタンフォード大学生30人くらい

かかった費用

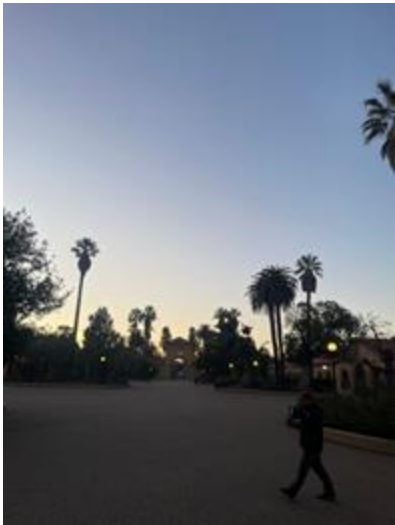
航空費：15万円

雑費：1万

お土産3万円

2月7日(金) Day1

時間	コンテンツ
12時	空港到着
4時	空港からキャンパスへ
5時	大学到着
6時	ウェルカムパーティー



大学の日本人学生がキャンパスから空港へ迎えに来てくれた。ホストがウェルカムボードを持って待っていてくれた。とても嬉しかった。ホストのフラットメイトを紹介してもらい、パーティーに向かった。SJECの方々がたくさん準備してくれた。その後、疲れが溜まっていたので、20時に就寝。

2月 8日(土) Day2

時間	コンテンツ
9:30	サンフランシスコへ
	各自観光



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

Pier39→ケーブルカー→チョコレートショップ→クレープ→カレー屋さん
→寮のパーティー

スタンフォード生がガイドしてくれた。一緒に回ってくれた卒業生の勤め先はGAFA、さすがスタンフォードだなと。そんな彼らは中学生のようにはしゃぐのでそのギャップが可愛らしかった。皆がそれぞれ、どのようにスタンフォードに入ったのか話を聞いた。自分からは一切自慢話をしないが、質問すると何かしらでアメリカ一位や世界一の成績を持っている人がいて、確かに周りが凄すぎて、自慢する機会が少ないのだろうと思うが、その謙虚さに感銘を受けた。

インサイド・ヘッドを見て、ずっと乗りたいかったケーブルカーは立ち乗りして、綺麗な景色を見ながら、風が心地よくてまた乗りたい乗り物の一つとなった。キャンパス近くのパキスタンカレー屋さんに行った。非常に美味しかった。その後、寮で週に2回あるソーシャルに参加し、ポーカーやピザメイキングを楽しんだ。

2月9日(日) Day3

時間	コンテンツ
9:30	academic meeting
10:30	brunch
12:00	stanford campus tour
15:30	super bowl



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

City planning のチームで図書館で作業をし、チームメンバーと一緒にランチをとった。その後、キャンパスツアーに参加し、美術館や砂漠のガーデン、設立者の彫像を見に行った。

午後からスーパーボールを見に寮に行き、ケバブを食べた。その後、ホストと食事をした。

スーパーボウルは寮のスペースで見たが、学生はパソコンを膝に置きながら、隙間時間に作業や勉強しながら視聴していたのが、印象的だった。またスーパーボウルは、試合もちろん面白いが、CMに国民は注目しており、CM作成に莫大な金額が投じられているという。確かに面白かった。

2月10日 (月) Day4

時間	コンテンツ
8:00	朝ごはん
9:00	Google Tour/会社でランチ
14:00	academic meeting
16:00	Trader Joes



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

Googleの社員にオフィスをツアーしてもらい、社員方々の仕事のお話を聞き、一緒にランチした。仕事の難しさ、楽しさを語っていただき、想像以上に競争社会であると感じた。失敗を奨励する文化があり、小さな失敗を繰り返して、大きな成功に導くという理念がとても素敵だと感じた。日本人社員の方もいたが、Googleで13年勤めているという。大学時代から人と異なることに取り組むことを大切にされていて、常に成長志向で新しいことにチャレンジされてきた姿勢がとても素敵だと感じた。

その後アカデミックミーティングを行い、バスに乗りTrader Joesに向かった。ピザパーティーの材料を買い、みんなで作った。SJECのメンバーの中には、韓国人のスタンフォード生もいて、彼女はKorean societyが大学になく、一番近いJapan societyに入ったと言っていた。そんな中でも、私たちのためにたくさん準備してくれて、サポートしてくれて感謝の気持ちでいっぱいだった。

2月11日(火) Day5

時間	コンテンツ
10:00	スタンフォード大学の日本人がアサイーボールに連れて行ってくれた
13:00	church
14:00	日本文学の授業
16:30	日本のビジネスに関する授業
19:30	映画鑑賞 IN N OUTへ



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

ランチ

スタンフォード学生のタフさ、成長意欲の高さ、好奇心旺盛な性格に感銘を受けた。毎日予定がびっしり詰まっていて、常に新しいことにチャレンジしているのがとても素敵だと感じた。

churchの訪問

運よくオルガンのパフォーマンスをみることができ、とても感動した。

日本文学の授業

谷崎潤一の作品を一冊読んで、考察するという授業。非常に高度な議論で、ついていくのに苦労した。もっと自国の文学に詳しくなりたいと思わせてくれた授業だった。

日本のビジネスの授業

教授が日本に住んだ経験があり、スタートアップやイノベーションに関する授業出会った。

映画・IN N OUT

ホラー映画が苦手だったので、寮のホールでピアノを弾いたり、SJECメンバーとだべっていた。スタンフォード生は横でずっと勉強していたので音を出してしまっって少し申し訳ない気持ちになった。笑
映画を見に行った後、ハンバーガーを食べに行った。味も上質で、美味しかった。スタンフォードの学生も勉強の息抜きに深夜に車を走らせて、食べに行くらしい。少しスタンフォード生になった気分を感じられて嬉しかった。

2月 12日(木) Day6

時間	コンテンツ
9:30	SLAC TOUR
12:30	日本語の授業
13:30	academic meeting
18:00	dinner
19:00	stanford medicine dinner



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

Slac tourでは、電子の線形加速器によって高エネルギー物理学の実験を行っている現場をみることができた。

日本語の上級クラスに参加したが、日本人の浮気の文化や、地域創生の問題、算数、数学のアメリカと日本とアメリカの教育の違い、日本の宗教観について、日本語でインタビューを受けて、生徒たちの日本語のレベルの高さに感銘を受けた。私たち日本人が日本で聞かれても難しい議題に向き合うことができている、感動した。

チェロのソロパフォーマンスでは、藤井風を連想した。音楽を心から愛して、とても引き込まれたパフォーマンスだった。

2月 13日(金) Day7

時間	コンテンツ
9:30	Meta Tour
15:30	Academic meeting
17:30	dinner
19:00	Interview night



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

Meta tour

美味しいご飯を食べることができた。
社員の方々の人生トークを聞くことができた。
CSからHRに転向するなど、キャリアの途中でも変更できることを知り、キャリアはいつからでも転向できるのだと知り、勇気をもらえた。

Interview nightでは、city planning のプロジェクトについて質問し、スタンフォード大生が丁寧に答えてくれてとても有意義な時間となった。冷えた鯛焼きも美味しかった。

2月14日(土) Day8

時間	コンテンツ
9:30	academic meeting
12:00	lunch
13:00	oval picnic
18:00	dinner
19:00	explore university avenue



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

発表前日なので、準備を進めた後、メンバーとランチに行き、ピンポンやゲームをして遊んだ。その後、SJECメンバーと全員でボール遊びやピクニックをした。天気が良く、楽しく時間を過ごすことができた。University Avenueでピザを食べ、ディナーをとり、スタンフォードの日本人学生と会った。

2月15日(土) Day9

時間	コンテンツ
10:30	ランチ
12:00	academic presentation finalization
14:30	final presentation
19:00	after party
24:00	寮でおしゃべり



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

最終的には、納得のいく発表ができ、達成感があった。ここまでサポートしてくれたメンバーに感謝の気持ちでいっぱいだ。
他のグループの発表を聞き、完成度の高さに感銘を受けた。最後に卒業生の夫婦がきて、70年前、このプログラムで日本で出会い、交際に発展し結婚したアメリカ人男性と日本人女性の夫婦であった。女性は専攻する学問を何度も変えて最終的に日本語教育に行き着いたという。そこで、自分の道がわかるまで、いろんなことに挑戦しなさい。という言葉が非常に胸に響いた。最後のパーティーでは、ピンポンゲームやカラオケで盛り上がった。寮に帰って、ホストや寮生と雑談していた。

2月16日(日) Day10

時間	コンテンツ
10:30	車でサンタクルーズへ
12:00	パークを出て、アサイーボウルを食べに行った
18:00	中華料理を食べに行った
20:00	キャンプファイヤー
25:00	寮に帰ってポーカー



具体的なプログラム内容やエピソード、感想など

サンタクルーズでは、アトラクションが想像以上に怖く、さすがアメリカだと感じた。カルフォルニアキッズは、全く怖がっておらず、負けてられないと感じていたが、やはり怖く、隣のビーチや友人と話す時間のほうが長かった。このプログラムについて参加者と振り返り、終わってほしくないねと語っていた。

この日が来てほしくなかった。1日1日がとても充実していて、スタンフォード生がどれだけ時間をかけて私たちのためにスケジュールを練って考えてくれたか、たくさんの準備をしてくれて、感謝の気持ちが込み上げてきた。